

第101130

二各方面ヨリノ觀察(別紙要圖参照)

理由  
 總括的  
 海岸全般遠溪而迄水ニ最モ忌ムヘキコリフノ地帯全域  
 ニ亘リ且ツ秘匿地域地形各所共直接海上ニ面シ而モ殆  
 ント緩斜面地質實惠シ

判決  
 知念海岸附近ニ技術上基地設定ニ甚ダ不適ニシテ技術上之  
 許ス範圍ニ他ニ設定スルヲ可トス  
 但シ目下ト器材之ヲ許サハ概テ六ヶ月ニ至慢用スルニ至ルベシ

知念海岸①基地偵察報告  
 第一港灣設定隊長 小澤義廣

48066

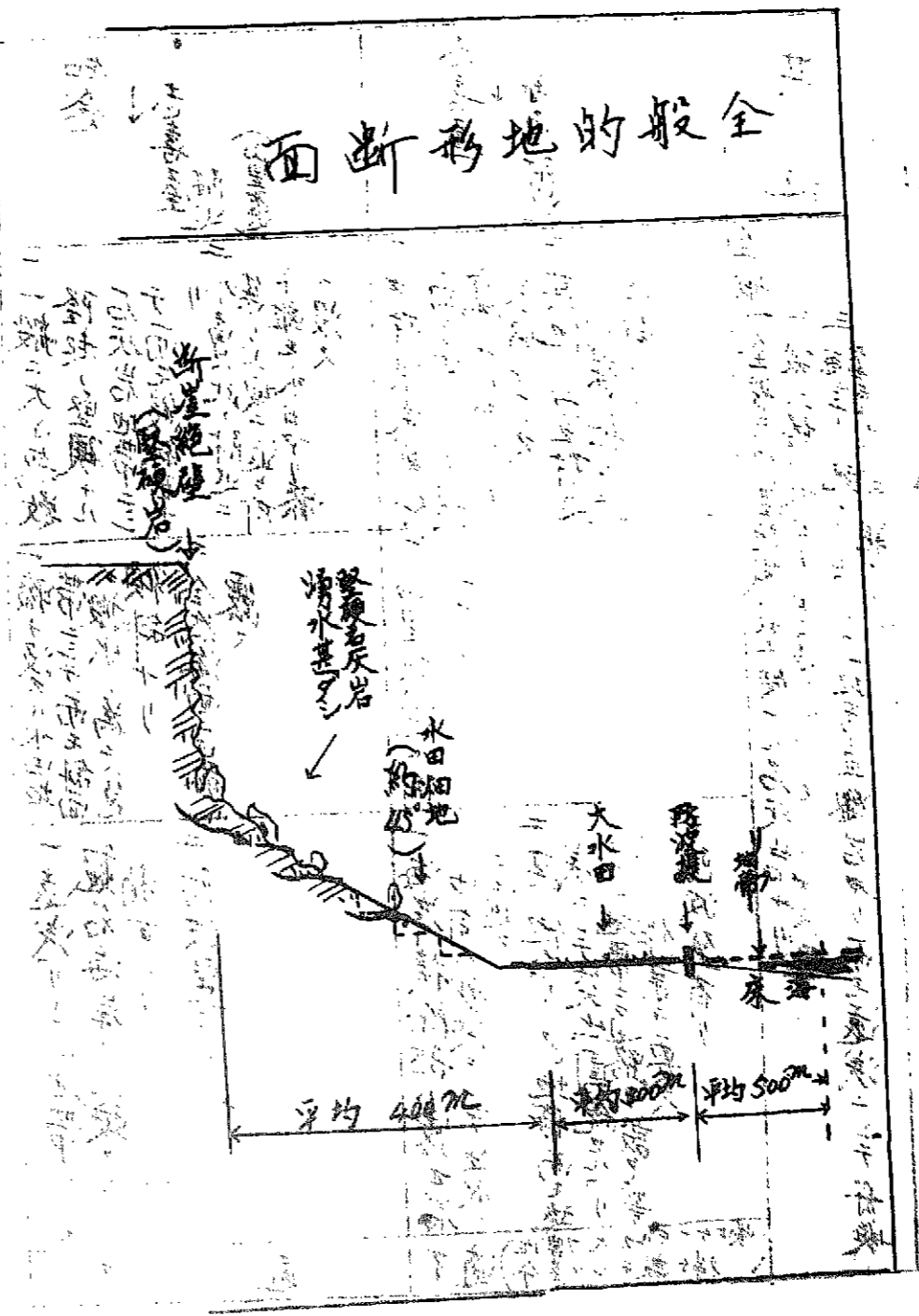
昭和33年4月米政府返還旧日本軍記録文書等史料経歴票  
 防衛庁防衛研修所戦史室

表題	
整理番号	
作成の部隊 庁・個人名等	
作成年月日	明治 大正 昭和
史料 の 主 内 容	
備考 (本史料に 関する 参考事項 を記す)	
史料 の 入 手 経 路	本史料は大東亜戦争中米軍が直接戦場で鹵獲し、又は内地進駐後、陸 海軍諸機関から押収した記録文書の一つであつて、長くワシントン郊 外フランコニア等の記録保管所に保管されていたが、米国務省に対す る日本政府の返還要求に応じ、昭和33年3月日本側に引渡され、同年4 月横濱着、同月10日指定保管責任たる防衛研修所戦史室の手に届し たものである。
責任 者 氏 名	防衛庁防衛研修所戦史室長 防衛庁事務官 西 浦 進

昭和33年5月調整

區分	救急位置	搬出路	海岸	判断
知名附近	一地形地質可 二要塞地帯三 三SA等障 地一リ之カ防害 ト敵目標タ ルハシ	一稍遠是也 施設創意 工夫セハ全無不 可能非ス 概テ烟地ト定 護岸アリ	一遠浅而モ「リ」ハ大 小凹凸アル特異形 象ニシテ海水集合 大ナル困難アリ	不 木 概
久手堅東側	一海上三四面ニ折 七緩斜面ニシテ 堅硬ナル石灰岩 多ク不適ナリ	一海岸ニ近キモ 露出小岩多 搬出困難ナリ	一遠浅アリトフ地帯アリ 銳利ナル凹凸マリ海水困 難ナリ	不 通
久手堅 知念附近	一同右 二海岸ニ水田 有リ	一總テ水田地帯際 没スル程ニ至 時程急意ニ夫 也ハ不可 二目録添ス	一久手堅東側ニ比較スレバ 稍ナルモ遠浅及リトフ地 帯ニシテ満潮時没スル 弊スル露岩アリ	不 通
知念 志喜屋 附近	一一般ニ大小無数 隆起、堅硬ナル 石灰岩地帯ニ テ而モ緩斜面 水層比、附近ニ 集リ山頂ニ近キ所 ト難之水田アリ 没ス	一藤ヲ及ル水田地 帯ニテ而モ斜面 八搬出、為ニ急 傾斜ナリ 二全然海面ニ暴 露ス	一遠浅アリトフ地帯ナルモ 知念名海岸ニ比較スレハ 稍可ナリ 二防波壁有リ	不 通
志喜屋 新原附近	一仲村港東側斜 面ニ年ヲシテ洞 窟トナル所アリモ 良好ナラス 二其他ハ山里附近 ト同様救急 困難ナリ	一山里附近ト同 一ナリ	一海岸接除部ニ露出石 二其、他ハ「リ」ハ地帯而モ遠 浅ニシテ大ニ出回ル「リ」 大ナル作業ヲ要ス 三防波壁有リ	不 通
其他	全般 一全般ニ洞窟地帯ハ堅硬ナル石灰岩トシテ 二搬出路ハ水田ヲ通過スル露岩大ニ困難ナリ 三海岸ハ鋭リタル「リ」ハ地帯且露岩アリ而モ遠浅ニシテ舟艇 運着不可ナリ			

全般的移地断面



三希望(意見)

1. 以上、如く基地二適宜ニ已テ得ヌ本地域ニ設定セントモ、日子(三月末)迄ニ完成セサルノミナラズ、器材、木材等、蒐集ニ多大ノ考慮ヲ要ス

2. 之ヲ為シ、狀況之ヲ評シ、與那原北側(運玉森)附近又ハ熱田附近ニ設定ヲ希望ス

OKINAWA  
R. I. ...  
CINCINNATI  
JERMS  
NO 3010